

こちら校長室

こころ
心

令和5年度



令和5年 10月 12日

京都市立修学院小学校

校長 鎌田 賢二

TEL : 075-781-4439

目を輝かせ 今を大切に生きる子

～しなやかに 夢中に 安心安全に～

素敵なメッセージから我々が得たもの

10月5日に京都市PTA連絡協議会様より素敵なメッセージが届きました。それは「先生への感謝を込めて～10月5日「教師の日」に～」といったタイトルで書かれていたものです。（詳細はもう一つの添付文書にあります。）10月5日が「教師の日」であることやユネスコが制定した日であったことも初めて知ったのですが、とにかく内容を読ませていただいたときとてもうれしい気持ちになり、勇気づけられました。子育てもそうですが、教育の世界でも日々生懸命進んでいく中で、褒めてもらったり、応援されたりすることはなかなかないものです。そのような中で、このようなメッセージをいただく機会があり、改めて言葉の持つ素晴らしい力を実感いたしました。本当にありがとうございます。

メッセージを読んでいた時にふと、スポーツ現場発祥の「ペップトーク」を思い出しました。試合前にチームのやる気を引き出すための言葉かけを体系化させたものです。WBCの決勝戦でも大谷翔平選手がミーティングで「あこがれるのをやめましょう…」というセリフが有名でさらにペップトークの知名度が高まっています。この紙面だけでお伝えするのはなかなか難しいことですが、ペップトークとは英語で「PEP TALK」と書き、「PEP」は英語で、「元気・活気・活力」という意味があります。岩崎由純さんという方がアメリカのスポーツ現場で学んだことを自分、家族、仲間に伝えるコミュニケーションスキルとして確立されたものです。どのようにして言葉を発していくのかそれは4つのスキルがあるようで以下のように進めていくそうです。例えば運動会のリレーで緊張している子がいたとします。

- (1) 受容（事実の受け入れ）明日の運動会のリレー緊張しているようだね。
- (2) 承認（とらえかた変換）それは本気でのぞもうとしている証拠です。
- (3) 行動（してほしい変換）友達を信じてバトンをつないでいきましょう。
- (4) 激励（背中の一押し）みんなで応援しているからね。

上記のように進めていくことで子どもたちだけでなく大人も元気になるきっかけを得られます。よく読むと京都市PTA連絡協議会様よりいただいたメッセージはまさしくペップトークそのものです。なかなか簡単にはいかないこともありますが、是非とも子育てやチームプレーなどでも試してもらえたらと思います。メッセージは教師だけに限らず学校現場の全教職員にいただいたと思っています。我々教職員も子どもたちの元気づけや応援のためのよい循環を言葉の力をつかって生み出していきたいと思います。運動会でもペップな言葉で盛り上げられるようご協力ください。

人を元気にするためにどんな言葉をかけられそうですか